

石屋工務店 かわら版

第137号

H28年2月24日発行

石屋工務店

TEL 075 492-1483

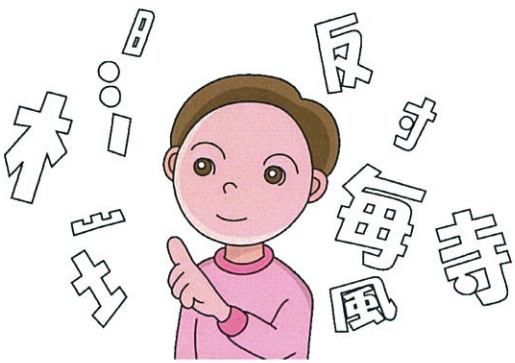
京都市北区大宮薬師山東町 47-5 建設業/京都府知事(般-25)第 31625 号 インテリアコーディネーター登録店

料人 石屋の多趣味人生

その113

漢字の話

ネット社会はいいですね。いろんな情報がいっぱい入ってきます。昔であれば疑問を持ってでもそれをどこで調べればいいのか？人に聞いても本当に正しい回答なのか検証する事が難しかったものです。そんな中、たまに調べた漢字についてちよつと書かせていただきます。皆さん「輸入」と言う漢字をどう読みますか？



「ゆにゆう」と読まれる方がほとんどだと思います。現在はそれで良いのですが、本来「輸」と言う漢字に「ゆ」と言う読みは無いです。正解は「しゅにゆう」なんです。この様に

本来と違う読み方が一般化したものを「慣用読み」と言うらしいです。どうも、江戸時代までは「しゅにゆう」と呼ばれていた物が明治に入り輸入貿易が盛んになるに従い「ゆにゆう」と読まれるようになりそれが定着したようです。他にも「慣用読み」で変化した漢字が色々あるようです。「早急」そうきゅうと最近では読みますが正解は「さつきゅう」杏仁豆腐 あんにんとうふ ↓ 「きょうにんどうつふ」一段落 ひとだんらく ↓ 「いちだんらく」捏造 ねつぞう ↓ 「でつぞう」情緒 じょうちゆう ↓ 「じょうしよ」

設立 せつりつ ↓ 「せつりゆう」消耗 しょうもう ↓ 「しょうこう」

書き出せばきりが無いですね。まだまだたくさんあります。カッコの中が正解です。こうやって見ますと言葉と言うのはその時代、社会背景により柔軟に変化してきていると言う事です。若い人たちが新しい言葉を造りそれが定着すれば一般化する。それに追いつけない年寄(私を含めて)が「言葉が乱れる」と言っているだけかもしれません。

さしずめ今年の新語は「ゲス不倫」かなと思う今日この頃です。

石屋 紀次

なよならもんちゃん

先日、ペットのモルちゃんが死んでしまいました。8年前のクリスマスに、まだ小さかった長女が「ハムスターがほしい！」とサンタさんに手紙を書き、朝に届いていたのがモルモットの『モルちゃん』です。ツリーの下にゲージを見つ

け、「大きなおデブのハムスターがきた〜！」と大喜び。ペットショップにちよつとハムスターがおらず、たまたま目に留まったゲージにいたモルモット。半年程売れ残っていたそうで、ディスカウントされていました。(笑) ショップにいた

長い間、店員さんにゲージから出して遊ぶでもらっていた様で、とても人懐っこい子でした。家族の皆にも可愛いがられ、こちらもとても幸せな気持ちにしてくれる小さな家族でしたが、とうとういなくなってしまうました。皆で庭の一番眺めの良い場所にモルちゃんの居場所



岩松 美紀

好きな街への思い出

大阪曾根崎にあった幼稚園と小学校に通っていました。お陰で梅田地下街には凄く詳しいです。只、長く離れている間に建物もお店も変わり、新しい地下まで出来ているので今の梅田のお店にはそんなに詳しくないんです。先日梅田で一日

した。父は「うすらや「すずめ」を好んでいましたが、今は時代の流れかスタンダードのものしか有りません。少しずつ街の面影はなくなっていくのでしようが、それでも行く度にちよつとホッとします。今も残っているお

店はそれなりに老舗なのでしよう。梅田に行く度に立寄りたいたいと思います。そんなこんなでこの日の歩行数は一万超えてした。

石坂 千孝



SWEETS

最近、久々にお菓子をよく作ります。昔はレシピ本を見てもらうように作れず、向いていないのかも：と思っていました。大雑把な性格のため、分量だったり、大胆に工程を進めていく所がダメなのです(笑)今はクックパッドというアプリや動画で教えてくれるサイトがあり、とても分かりやすいので楽しく作ることが出来ます。そのおかげで初めて自信をもって成功といえたのがバイクドナーズケーキ。材料もシンプルです、工程も多くないので初心者でも簡単にできます。



中島 あゆ美

最近のあれこれ

私は犬が苦手なのですが、今日同じ犬に3度出会いました。犬が苦手なので避けて歩こうとするのですが隣を歩いていた人がその犬を呼ぼうとします。少し鬱陶しいと思いました。



モモヒキを履いている方がかえって寒い時があります。なんでも空気層が大車なのももれないと思えました。

今着ているトレーナーは裏地にモコモコした毛が付いているのでかなり温かいです。この冬ヒートテックとこのトレーナーの2枚で過ごせます。

手帳に鉛筆を挿す所がついています。そのまま尻ポケットに手帳をいれていきます。鉛筆のことを忘れてそのまま車に乗り、鉛筆が折れました。今週2度あります。

高野 圭亮

